

花王（株）の沿革、工場配置、従業員数、海外事業

1. 沿革

- 1887年 初代・長瀬富郎(とみろう)が花王の前身である洋小間物商「長瀬商店」を創業
 1890年 花王初の製品「花王石鹸」 発売
 1902年 原料仕込みから包装までを一貫生産する直営工場 「請地^{うけじ}工場」完成
 1934年 家事全般について科学的な研究施設 家事科学研究所を設立
 ～戦後～
 1946年 花王石鹸（株）長瀬商店→（株）花王に改称
 1962年10月 川崎工場完成
 1964年 初の海外拠点 花王インダストリアル(タイランド)社設立、台湾花王社設立
 1966年 花王製品専門の卸である最初の販社、(株)多喜屋花王商事(東京)、(株)松花商事(神戸)を設立
 1971年 家事科学研究所の機能を継承、発展させた花王生活科学研究所を新設
 1985年 花王石鹸(株)⇒花王(株)に改称
 1999年 広域9販社合併、花王販売(株) 設立 (2004年100%子会社化)
 2007年 花王販売(株)と花王化粧品販売(株)が合併⇒花王カスタマーマーケティング(株)に
 2006年 (株)カネボウ化粧品が花王グループに

2. 工場配置 (国内：平成26年12月31日現在)

2014年売上割合

- ◎化粧品やスキンケア、ヘアケアなどの「ビューティケア」事業分野 42.1%
 ◎健康機能飲料やサニタリー製品などの「ヒューマンヘルスケア」事業分野 17.1%
 ◎衣料用洗剤や住居用洗剤などの「ファブリック&ホームケア」事業分野 23.2%
 ⇒一般消費者に向けたコンシューマープロダクツ事業
 ◎工業用製品「ケミカル」事業分野 ⇒ケミカル事業 17.6%

事業所名	「ビューティケア」事業	「ヒューマンヘルスケア」事業	「ファブリック&ホームケア」事業	ケミカル事業	従業員数(人) [外数]
和歌山工場(和歌山)	○	○	○	○	1,673[76]
東京工場(東京都墨田区)	○	○		○	1,845[70]
酒田工場(山形県)	○	○			183[6]
川崎工場(神奈川県)	○	○	○		251[12]
栃木工場(栃木県)		○	○	○	1,082[14]
鹿島工場(茨城県)		○	○	○	269[7]
豊橋工場(愛知県)	○	○			106[8]
花王サニタリープロダクツ愛媛株式会社(愛媛県)		○	○		-
花王コスメプロダクツ小田原株式会社(神奈川県)	○				264[20]

注：従業員数の[外数]は、臨時従業員数。

花王(株)

- ・愛媛サニタリープロダクツ(株)に、土地を含め、製造に必要なすべての設備を貸与
- ・花王コスメプロダクツ小田原(株)に、土地以外の、製造に必要なすべての設備を貸与

3. 従業員数

6,664人(連結対象会社合計 32,707人) 2014年12月31日現在

4. 海外事業 (平成26年12月31日現在)

*在外子会社 生産設備(工場)15か所

事業所名(工場)	「ビューティケア事業」	「ヒューマンヘルスケア」事業	「ファブリック&ホームケア」事業	ケミカル事業	従業員数(人)[外数]
上海工場:中国(上海)	○	○	○		307[1]
合肥工場:中国(合肥)		○			85[-]
新竹工場(台湾 新竹)	○	○	○		226[-]
ハサーン工場(フィリピン)				○	165[6]
チョンブリ工場(タイ)	○	○	○	○	539[-]
本社工場(マレーシア)				○	216[5]
チカラン工場(インドネシア)	○	○	○		551[882]
カワラン工場(インドネシア)	○	○	○		181[158]
カワラン工場(インドネシア)				○	162[-]
本社工場(アメリカ、オハイオ州)	○				613[14]
本社工場(アメリカ、ノースカロライナ州)				○	155[-]
本社工場(ドイツ、ダルムシュタット)	○				194[3]
本社工場(ドイツ、エメリヒ)				○	180[24]
オレッサ工場(スペイン、バルセロナ)				○	126[4]
モレ工場(スペイン、バルセロナ)				○	70[6]

注：従業員数の[外数]は、臨時従業員数。

- ・設備の内容としては、**生産設備(工場)・研究開発設備(研究所)**

※東京工場のみ、その他設備として、すみだ事業場あり

- ・生産設備(工場)と研究開発設備(研究所)を併設しているのは

国内⇒和歌山、東京、栃木、神奈川(小田原)

海外⇒台湾、タイ、アメリカ(オハイオ州、ノースカロライナ州)